

# 第9回 日本外来臨床精神医学会

The 9<sup>th</sup> Annual Meeting of The Japanese Society of Clinical Outpatient Psychiatry (JCOP)

## 学術大会 プログラム

日時 ● 平成21年2月22日(日)

場所 ● 東京医科歯科大学 5号館 4F 特別講堂



日本外来臨床精神医学会

The Japanese Society of Clinical Outpatient Psychiatry (JCOP)

精神科専門医認定試験合格証をお持ちの方は、必ずご持参下さい。

～ JCOPはC群：4時間以上30点～

ポイントを取得するには、会期の7割以上のご参加が必要です。部分的なご参加ではポイントに加算されませんので、ご注意ください。

## 第9回 JCOP 学術大会に向けて

平成21年2月開催の第9回 JCOP 学術大会に向けて一言ご挨拶申し上げます。

第9回大会会長石間祥生先生は、かつては東京医科歯科大学で教鞭をとられ、優れた研究業績をお持ちの研究者ですが、現在はそれらの経験を踏まえて臨床の第一線で活躍されている臨床医でもあります。また本学会の運営にも大変ご尽力いただいております、まさに打ってつけの大会会長であると思います。

第1回(2001)から第8回(2008)のメインテーマを振り返って見ますと次のようになっております。(括弧内は大会責任者、第3回以降は大会会長)

- 第1回：気分障害(外来臨床精神医学懇話会 CPO) (松下昌雄)
- 第2回：統合失調症(外来臨床精神医学懇話会 CPO) (松下昌雄)
- 第3回：Personality Disorders の外来治療をめぐって(竹村堅次)
- 第4回：外来精神医学の Identity - 歴史的認識をふまえて(松下昌雄)
- 第5回：ストレス関連障害および適応障害の診断と治療(関谷 透)
- 第6回：児童・思春期の精神医学的課題にどう取り組むべきか(石山淳一)
- 第7回：精神科外来における新しい病態と新しい治療法(鈴木二郎)
- 第8回：気分障害再考 - 臨床精神科医のスキルの向上のために - (大塚明彦)

さて、第9回学術大会の石間大会会長は、メインテーマに「精神科外来のこれから」(仮題)を取り上げられました。はじめの第1回と最後の第8回に気分障害が取り上げられているのは現在の精神科外来の実情をよく反映していると思われませんが、第1回から第8回を通してみますと認知症(痴呆症)、アルコールを含めた薬物依存を除けば現在精神科外来で問題になるような精神障害はほぼ出揃っております。それを踏まえ次回に「精神科外来のこれから」をメインテーマに選び、現時点で外来臨床精神医学の在り方を前向きに探求しようとする姿勢はまさに当を得たものと共感を覚えます。この機会に多くの会員が一堂に集って将来に向けての外来精神医学の在り方、課題について議論を戦わせる絶好の機会と思われしますので、奮ってご参加いただきたいと思います。

本年10月30日～11月2日の間、都市センターホテルで第13回環太平洋精神科医会議が開催されますが、JCOPにも協力の依頼があり、よい機会なので「環太平洋諸国の精神科クリニックの現状」と題するシンポジウムを企画しました。鈴木二郎常任理事がオーガナイザー、座長となって、日本、アメリカ、韓国から5名のシンポジストとディスカッサントが集い情報交換をいたしますが、JCOPからも世界に向かってわが国の現状あるいは主張を発信したいと思います。是非ご参加下さい。

なお、次々回(平成22年度)は本学会設立10周年記念大会となり、したがって次回はその地固めをする大切な大会でもあります。折りしも本学会最初の選挙による代議員、役員(理事、監事)の選挙が進行中で、本年中には新代議員・新役員が出揃い、次回総会(平成21年2月)で承認を受ければ次期(平成21、22年度)からは民主的に選ばれた代議員、役員によって学会が運営されることとなります。そういう意味からも第9回学術大会・総会は意義のある大会となると思います。以上の意味合いをご斟酌いただき、一人でも多くの会員および本学会の主旨にご賛同いただける精神科医の参加を切に期待する次第でございます。

(2008年10月)

# 大会開催のご挨拶

大会会長  
石間  
祥生

JCOP 学術大会も9回目となりました。これまで様々なテーマを取り上げ活発な御討論を頂いて会員の一年間の課題として参りました。今回は現在の精神科外来の実情を踏まえて「これから」の診療に役立てたいと思いましたが「精神科外来のこれから」をテーマにさせて頂きました。

社会保障制度が溶融し、既存の国家体制が崩壊し始めて頼むに足らなくなった世の中で、目まぐるしく変わる社会情勢に取り残された人々が、社会不安に曝されて、為す術もなく右往左往している現状では、当然の事ながら、様々な患者が精神科外来を訪れます。しかしその多くは嘗ての精神科外来には来なかったタイプの人々です。そして本来の疾患の単なる一症状に過ぎないものが立派な疾患単位として一人歩きし始めました。現代の世相がそうである様に、情報化社会のポピュリズムの一環として精神科も患者のニーズに応える「医商い」と化し始めました。

皆さんは「病気は存在しない、唯、患者が居るだけだ」と云った、ドイツの病理学者グルーレの言葉をご存知でしょうか。病気は、自然科学的な事実判断ではなく、患者の注文から生じた価値判断だからです。この事が精神科外来を混雑させた主因です。病識が有るか無いか以前に、どれだけの人が精神とは何かを認識しているでしょうか。その曖昧さに乗じ、ポピュリズムに走る余り、患者が増え、治療が御座なりで、不適切な治療に依って病像を歪められた人々がドクターショッピングして命懸けで巷を彷徨っております。

人は弱い存在です。何か起ると人間存在の不確かさ(存在の乏しさ)に立ち返って不安緊張状態に陥ります。水や食べ物や空気さえもが、最早、安心して得られない時代となりました。人が安心して過ごせる環境、社会的資源とともに好い医療を提供したいものです。

今回、特別講演「精神医学のこれから－脆弱性の研究からレジリアンスの研究へ」をお引き受け下さった八木剛平先生に御礼申し上げます。続くシンポジウムでは、経験豊かな先生方に「今日の精神科の臨床」をテーマに精神科の現状を討論して頂きます。参加者の皆さんと明日に向かって活発な討論が出来る事を楽しみにしております。

また、この学術大会を開催するに当たって、ご尽力下さいました松下昌雄理事長以下、理事の先生方、実行委員会の先生方に感謝いたします。また、様々の役割を果たして頂いた先生方にも心から御礼を申し上げます。

(2008年10月)



## 第9回日本外来臨床精神医学会(JCOP)学術大会(2009)

大会会長：石間 祥生(石間クリニック院長)

大会副会長：里村 淳(富士見メンタルクリニック院長)

市川 光洋(御茶ノ水医院院長)

### 実行委員会

委員：浅川 雅晴、五十嵐良雄、石間 祥生、石山 淳一、市川 光洋、市橋 秀夫、  
榎本 稔、荻本 芳信、大塚 明彦<sup>\*</sup>、木村 直人、里村 淳、澤 温<sup>\*</sup>、  
鈴木 二郎<sup>\*</sup>、砂山秀次郎、関谷 透<sup>\*</sup>、藤本 英生、堀江 光子、前久保邦昭、  
松下 昌雄<sup>\*</sup>、松蘭理英子 (※オブザーバー：JCOP 理事長、副理事長)

日時：平成21年2月22日(日) 10:00～16:30(情報交換会：17:00～19:00)

場所：東京医科歯科大学 5号館4F 特別講堂

〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45 TEL:03-3818-6111

参加費：会員(医師)1万円、非会員(医師)1万円3千円、パラメディカル5千円

情報交換会費：3千円

## 学術大会プログラム

メインテーマ

### 「精神科外来のこれから」

総合司会：岡島加代子(オフィス ロブソン)

---

理事長挨拶 松下 昌雄(帝京大学客員教授・西落合診療所院長) 10:00～10:10

---

Opening Remarks 石間 祥生(石間クリニック院長) 10:10～10:20

---

I. 一般演題(発表15分、討論15分) 10:20～11:20

座長：砂山秀次郎(長津田メンタルクリニック院長)

松本 誓子(祐天寺松本クリニック院長)

1 「USPT(Unification of Subconscious Personalities by Tapping Therapy)  
を応用した過去世・未来世療法」

小栗 康平(早稲田通り心のクリニック院長)

2 「初診時、私は患者さんに何を話しているか」

大塚 明彦(大塚クリニック院長・東京歯科大学臨床教授)

---

昼休み(11:20～11:40)



---

総 会(代議員で構成 — オブザーバーの参加も可) 11:20～11:40

理事長挨拶: 松下 昌雄

議 事: 議長(大会会長)、議事録署名人選出

平成20年度事業報告(案)・収支決算および財産目録(案)

平成21年度事業計画(案)・収支予算(案)

会則・選挙規則一部改定、代議員新役員承認、次期大会会長指名、他

---

II. 会長講演(プレナリー・セッション)(60分)◎出席者には昼食用意◎ 11:40～12:40  
座 長: 松下 昌雄(JCOP 理事長)

「精神医学のこれから — その問題点の一考察 —」

石間 祥生(石間クリニック院長)

---

III. 特別講演(60分) 12:50～13:50  
座 長: 石間 祥生(石間クリニック院長)

「精神医学のこれから — 脆弱性研究からレジリアンス研究へ」

八木 剛平(元慶應義塾大学客員教授、現翠星ヒーリングセンター おおぞらクリニック院長)

---

IV. シンポジウム(140分) 14:00～15:30

テーマ

## 今日の精神科臨床

座 長: 里村 淳(富士見メンタルクリニック院長)

広沢 郁子(メンタル神田クリニック院長)

1 「『病名』の認知度と『病態』の理解度 — 精神疾患治療のフォロー —」

川口 哲(ストレスクリニックウイング管理者・長崎ウエスレヤン大学客員教授)

2 「逃避型うつ病を通して — 外傷反応と社会変化の視点から —」

高沢 悟(高田馬場新澤ビルクリニック院長)

3 「うつ病は心のかぜの光と影 — 薬物療法の視点から —」

前久保邦昭(前久保クリニック院長)

---

総合討論(50分) 15:30～16:20

---

Closing Remarks 里村 淳(富士見メンタルクリニック院長) 16:20～16:30

---

第2回 JCOP 理事会 東京医科歯科大学 B棟16F 第1ゼミナール室 16:30～17:00

---

V. 情報交換会(含懇親会) 17:00～19:00

場 所: オークラカフェ&レストラン メディコ 東京医科歯科大学 B棟16F

司 会: 浅川 雅晴(浅川クリニック院長)









### Ⅲ 特別講演

## 精神医学のこれから — 脆弱性研究からレジリアンス研究へ

八木 剛平 (元慶應義塾大学客員教授、現翠星ヒーリングセンター おおぞらクリニック院長)

レジリアンス (resilience) は弾性エネルギーや反発力を意味する物理学用語であった。それが20世紀の後半になってまず臨床心理学や小児精神医学の分野で、次いで90年代からは PTSD の心理社会的・生物学的研究において、21世紀に入ると更にさまざまな領域で用いられ始めた。“Natural resilience” の用語や、回復力・しなやかさ (WHO・西園)、家族のストレス耐久性 (齊藤)、脳のストレス抵抗力 (丹生谷)、死生学における復元力などの訳語から、演者はこの動向に自然治癒力概念の復権と新たな発展の可能性を予感している。いずれにせよこの概念の普及・浸透と精神疾患の発病防御・回復促進因子に関する生物学的研究は、脆弱性研究に代表されるこれまでの発病論的研究への偏向を正しつつ、精神科治療を初め広く精神保健福祉領域に新しい知見をもたらすと期待される。本学会の会員諸兄が、今回のメインテーマである「精神医学のこれから」を考える際のご参考になれば幸いである。







---

## JCOP 第9回学術大会 参加申込書

---

〆切：平成21年2月9日〇月

お申込み先 FAX：043-301-0821

又は E-mail：9jcop090222@otsuka-clinic.org

平成 年 月 日

---

① ご氏名 <会員(医師)・非会員(医師)・パラメディカル>

ご所属

ご連絡先住所 〒

TEL：

FAX：

---

② ご氏名 <会員(医師)・非会員(医師)・パラメディカル>

ご所属

ご連絡先住所 〒

TEL：

FAX：

---

③ ご氏名 <会員(医師)・非会員(医師)・パラメディカル>

ご所属

ご連絡先住所 〒

TEL：

FAX：

---

情報交換会     ご出席(    名)    ・     ご欠席  
(必ずどちらかに〇をお願いします)

※当日、このプログラムをお持ちください。参加費は当日で結構です。  
また、当日のご入会も受け付けております。

## 会場のご案内



### 会場までのアクセス

#### ■ JR線

御茶ノ水駅下車……………徒歩5分

#### ■ 地下鉄

御茶ノ水駅下車(丸の内線) ……徒歩2分

新御茶ノ水駅下車(千代田線) ……徒歩10分

#### ■ バス

● 東43系統 都バス(荒川土手操車場—東京駅北口間)  
……………御茶ノ水駅前下車

● 茶51系統 都バス(駒込駅南口—御茶ノ水駅前間)  
……………御茶ノ水駅前下車

## 東京医科歯科大学医学部附属病院

〒113-8519 東京都文京区湯島1丁目5番45号

TEL : 03-3813-6111(代表)

ホームページ <http://cmil2.med.tmd.ac.jp/>

印 刷 :  株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL : 096-382-7793 FAX : 096-386-2025



日本外来臨床精神医学会

## 第9回日本外来臨床精神医学会 (JCOP) 学術大会

---

大会会長：石間 祥生 (石間クリニック院長)

主 催：日本外来臨床精神医学会

〒263-0031 千葉県千葉市稲毛区稲毛東3-20-11-3F

TEL&FAX：043-301-0821

E-mail：9jcop090222@otsuka-clinic.org

HP：http://jcop.xsrv.jp/